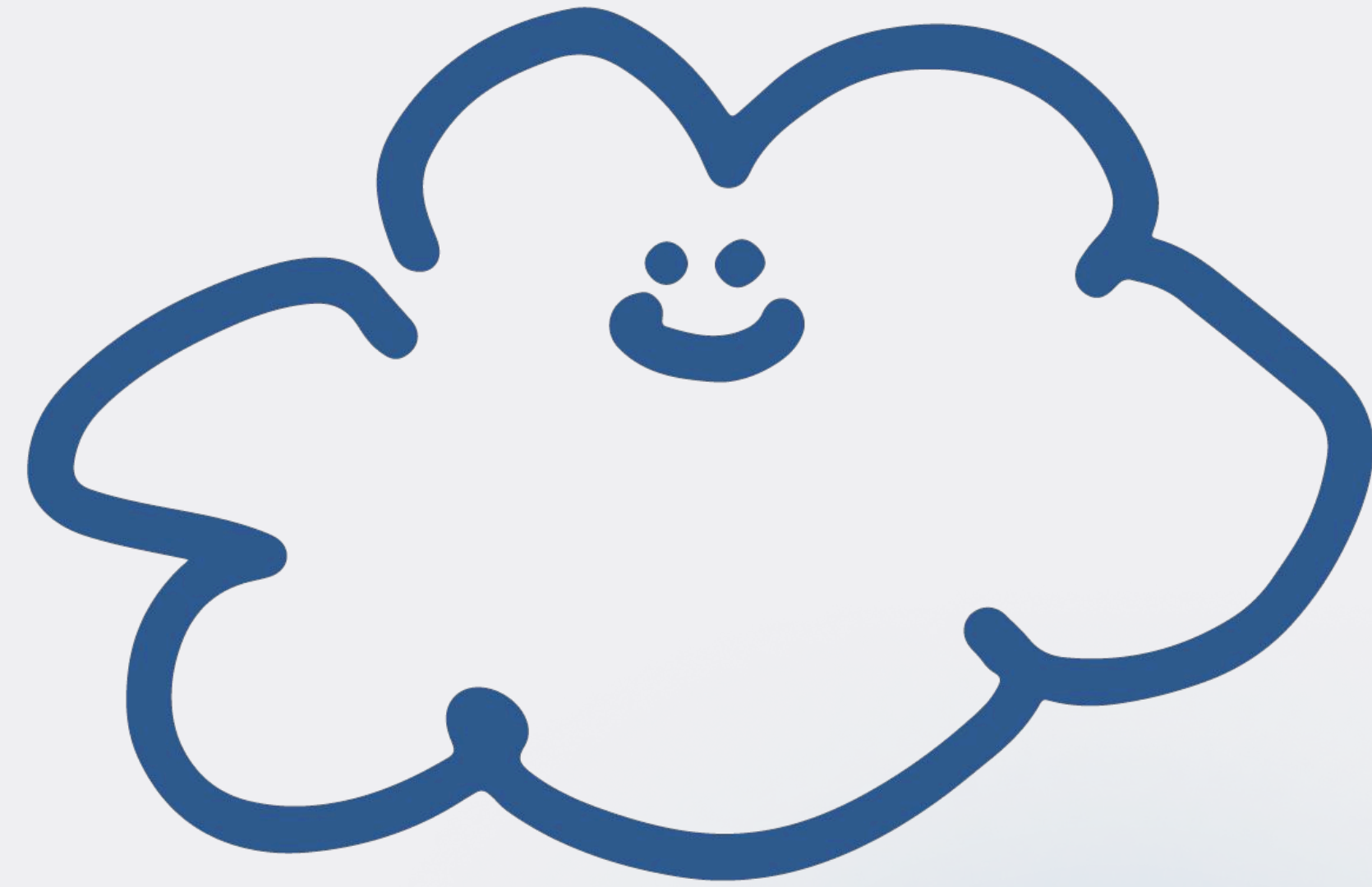




一般社団法人たすけあい

団体説明資料

生い立ち関係なく、 誰でもなりたい自分になれる

虐待、ヤングケアラー、貧困など
若者を取り巻くさまざまな問題が溢れている現代

生い立ちや、これまでの自分の経験を受け入れた時
本当の自分に戻れる。と私たちは信じています

たすけあいには、「本当の自分に戻れる」そんな瞬間や
「助け合い」のきっかけを増やすことで、
生い立ち関係なく、
誰でもなりたい自分になれる世界を目指します

Contents

1. 団体情報
2. 団体のミッションと
活動内容について
3. 団体のいまとこれから



団体情報



団体名 一般社団法人たすけあい

代表理事 田中 れいか

理事 西井 あずさ

設立 2022年7月7日

所在地 埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2
新都心ビジネス交流プラザ3階 COCOオフィス

代表紹介

一般社団法人たすけあい 代表理事

田中 れいか | Tanaka Reika

1995年生まれ、東京都出身、埼玉県さいたま市在住
親の離婚をきっかけに、7歳から18歳までの
11年間世田谷区にある児童養護施設で暮らす。

退所後、短期大学進学。その後、モデルの道に。

ミスユニバース2018茨城県大会準グランプリ・特別賞受賞。
モデル業のかたわら、自らの経験をもとに、親元を離れて暮らす
「社会的養護」の子どもたちへの理解の輪を広げる講演活動や
情報発信をしている。2020年4月にたすけあいの前身となる
社会的養護専門情報サイト「たすけあい」
社会的養護専門たすけあいch (Youtube) を創設。

2022年一般社団法人化する



理事紹介

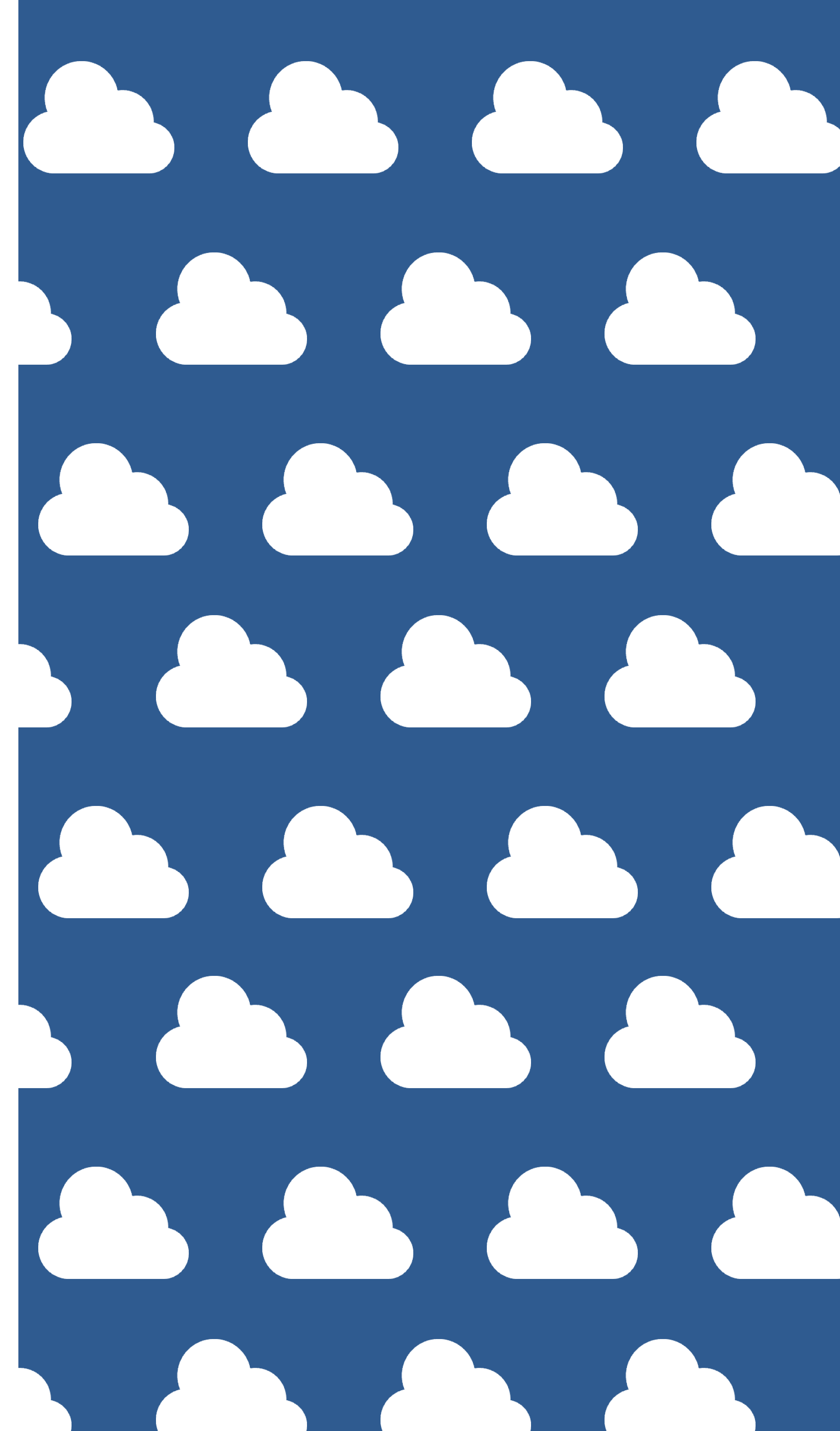
一般社団法人たすけあい 理事

西井 あずさ | Nishi Azusa

1998年生まれ、東京都出身、東京都練馬区在住
日本工業大学院 建築デザイン専攻卒業（修士）
所属：日本建築学会 / 日本子ども虐待防止学会
学部生時代、NPO法人キッズドアで学習支援ボランティアを通して子ども福祉に関心を持つ。また、あるイベントで、田中れいかと出会い活動のお手伝いを始める。このようなきっかけから学部、修士とも児童養護施設等の建築に関する研究を卒業論文とした。院に在学中に一般社団法人化をし、理事に就任する。今でも継続して修士論文テーマ「児童養護施設及び乳児院における心理療法室の実態と空間特性について」の研究を進めている。



団体のミッションと 活動内容について



生い立ちが 関係ない社会を、たすけあいの 連鎖でつくる。

生い立ちが関係ない社会を
たすけあいの連鎖で作ります。

嬉しかった経験が
たすけあいの連鎖を作っていきます
私たちは連鎖のきっかけを
産み出すための活動を展開していきます

活動内容

● 講演やイベントへの 登壇活動

01

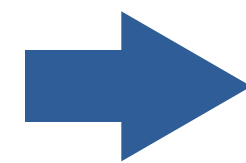
- ・ 社会的養護の制度に関すること
- ・ 関係者へのインタビュー記事など

● メディアを通じた 発信活動

02

- ・ 社会的養護の制度に関すること
- ・ 関係者へのインタビュー記事など

● 少額から「単発」で、「直接」 03 児童養護施設等に寄付できる場所を運営。



社会的養護を知るきっかけ、行動するきっかけを
通じて「たすけあい」の連鎖を作っていきます

社会的養護の 専門情報サイト「たすけあい」の運営



活動内容詳細01「たすけあい」

活動を通じて出会った方にゲストとして出演してもらうなど、繋がりを大切にすることをモットーに、施設職員さんや様々な社会的養護関係者に利用していただいているwebメディアです。

利用者からのコメント



弊社の新しい事業として、社会的養護を経験した若者と様々な企業で働く社員の接点(相互扶助的な学びの場)の創出を行っています。一般的に馴染みがなかったり、とっつきにくかったりする「社会的養護」という領域を、わかりやすく伝えてくれるコンテンツなので、事業を進めてきた数年間、常に傍らに「たすけあい」がありました。私自身の勉強になっているのはもちろん、今では、接続してくる企業の社員の方から「たすけあいにこう書いてあったんだけど...」や「人に説明するときにはこのサイトを紹介しています」という声を多くいただくようになり、バイブル的な存在です

施設とあなたをつなぐ 「ほしい」を届ける橋渡し

ほしい物リストを活用した寄付サイト、ナカソラ

掲載施設一覧

ほしい物リストの掲載がある児童福祉施設をまとめています！



土井ホーム

福岡県 ファミリーホーム

2024. 10. 10



こどもL.E.Cセンター

熊本県 児童心理治療施設

2024. 10. 09



名古屋文化キダーホルト

愛知県 児童養護施設

2024. 09. 17



あすなろ荘

東京都 自立援助ホーム

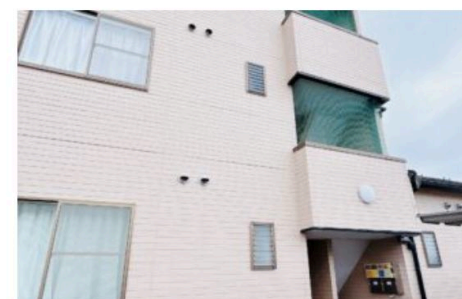
2024. 09. 15



あん

福岡県 自立援助ホーム

2024. 09. 15



ななほし

滋賀県 自立援助ホーム

2024. 09. 15



Begin

愛知県 自立援助ホーム

2024. 09. 15



湘南つばさの家

東京都 自立援助ホーム

2024. 09. 15

ナカソラの意味

ほんとうは近くにあるのに、
地上じゃ見えない。でも、雲の上にいけば
すぐに見つかる、つながれる。

ナカソラの語源



飛行機からみる雲の上の景色、雲の絨毯の上に広がる
まっさらな青空の景色を「ナカソラ」と名付けました。

児童福祉施設は令和2年4月時点で
1,266ヶ所あるとされています。

数が限られているとはいえ、
あるのに遠い存在だと思う人がたくさんいて、
つながりたいのにきっかけのない人がいる。

このような自身の体験から、
寄付に対する敷居を下げ、
裾野を広げる活動として始めました



活動内容詳細02「ナカソラ」

Amazonほしい物リストを活用した寄付サイトです。
さまざまな事情で、実の親と離れて暮らしている子どもたちを応援したい人と
子どもたちが生活を送っている福祉施設をつなぐために作りました。

● 累計寄付総額

2,199,369 円

● 寄付物品数

1,104 個

● 掲載施設数

47 件

活動内容詳細02「ナカソラ」

ナカソラが目指す未来はじぶんの住んでいる地域にある施設を応援する社会をつくること。それは、その地域にある児童養護施設等を、地域の一員として支え合うような社会をつくることです。

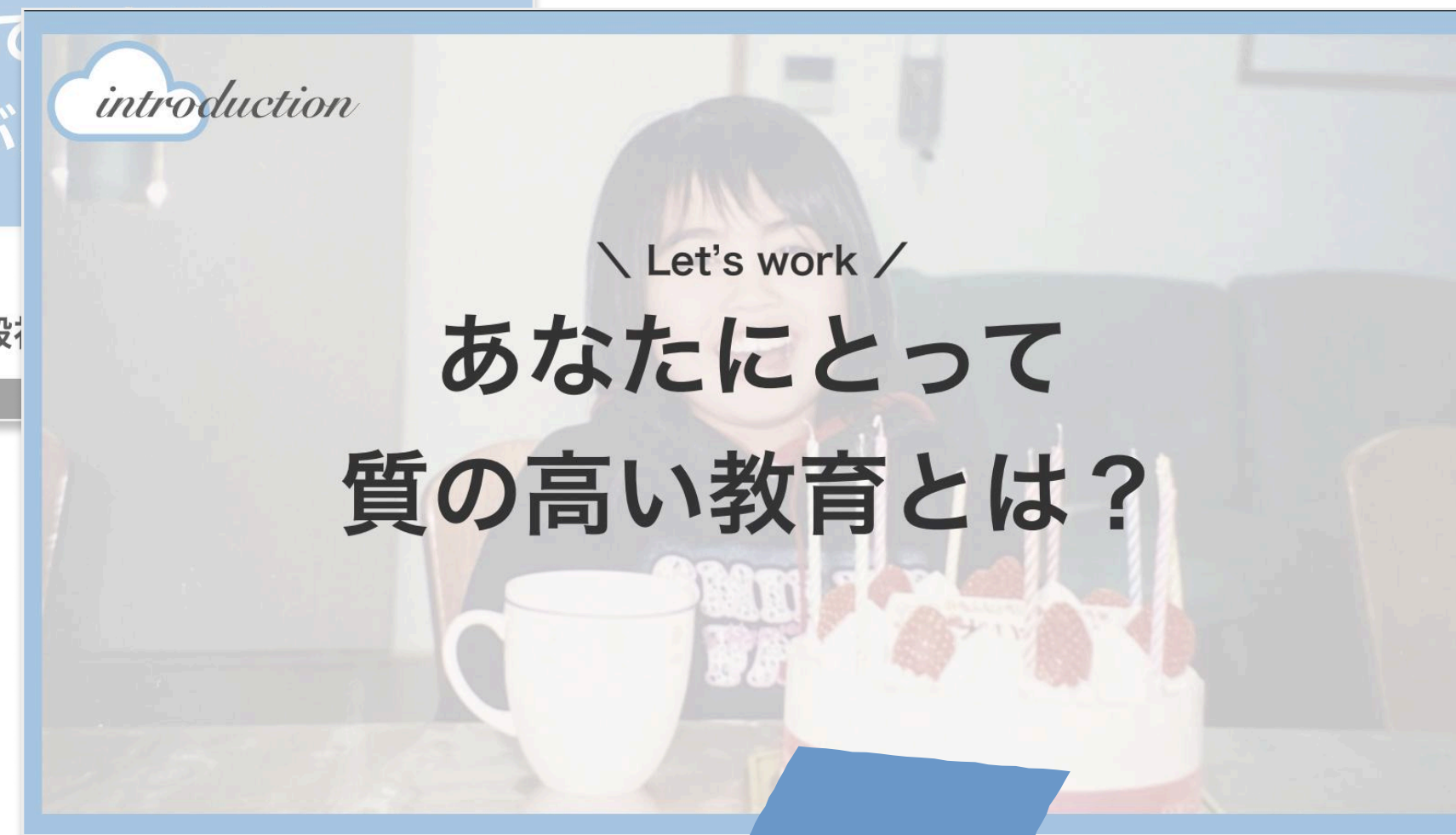
利用施設さんからのコメント

児童養護施設杉並学園さま

施設の建て替えにともない、新しく増設する心理療法室で必要なおもちゃのほしいもののリストを掲載させていただきました。
多くの方々からご寄付をいただきまして、最終的にはなんと、掲載していたすべてのおもちゃが届きました。

子どもたちや職員に向けての暖かいコメントも一緒にいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。その時に必要なものが発信でき、寄付してくださる方と繋いでいただけたので、本当にありがとうございました。

”理解の輪”を広げる講演 イベント登壇



講演活動で大切にしていること

未来の社会福祉士・保育士・教員となる大学生や学校の先生
地域・保護者・時に行政職員に向けて、児童養護施設等の存在を発信し
”理解の輪”を広げていく活動をしています

大切にしていること、ポリシー

● 授業

たすけあいだけでなく、
他の団体や当事者とコラボし
理解の輪が正しく広まることを
大切にしています

● 研修

施設での生活経験だけでなく
これまで関わってきた
他の当事者の声などを紹介
することを大切にしています

● 講演

クイズを入れたり
聞いている人が
楽しく聴けるように
心掛けています

講演先からのコメント

聖徳大学教育学部児童学科

兼任講師 須田研一

本校は、“保育の聖徳”として知られています。多くの学生は、明確な目標－保育園の保育士・幼稚園教諭になる－をもって入学してきます。ですから、学生にとって「社会的養護Ⅰ」の科目に興味・関心があるかといえば、正直「あまりない」と言えます。施設に就職する学生は一割もいませんから。しかし、担当教員としては、興味・関心をもってもらいたいと想い、田中さんのお力をお借りしています。私が話すよりも聴いてくれるからです（苦笑）。それは学生の感想からもわかります。

「施設で暮らしている＝かわいそうではない」の気づき。退所後の支援不足といった問題意識の醸成。さらに自分がいかに恵まれて今があるのかを書いた感想もみられました。リアクションペーパーいっぱい書かれている感想文も少なくないことから、学生が真剣に聴いていたことがわかります。学生にとって子どもの人権、権利について「考える」機会になったと思います。

団体のいまとこれから

これからの活動について

既存の活動とキャリア教育の接続を目指しています

← 現在地： 主に大人向けの活動がメイン →

知ってもらう

講演・メディア

行動する
きっかけ

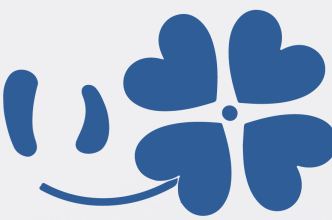
寄付サイト

意見の
形成・表明
実現の支援

← キャリア教育領域への挑戦 →

生い立ち関係なく
誰でもなりたい
自分になれる

たすけあい



THANK YOU